

コ ー ス	生命と科学〈疑似科学〉 (Life & Science <Pseudoscience>)		
学年・期・単位	第1学年・後期・2単位	科目担当責任者	松原 郁哉 (自然科学講座 物理学分野・准教授)
オフィスアワー	毎週月曜日17:00～18:00 (実習棟3階物理学研究室)	メールアドレス	i.matsu@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	科学的にものを考えたり、判断したりする力を養うため、本コースでは、血液型性格判断などの疑似科学について調べ、その正当性を検証し理解する。また、理解した内容を口頭およびレポートで発表する方法を習得する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 概論	疑似科学と本当の科学の違いを理解する。
2. 学説の論拠の調査	学説の論拠がどのようなものであるかを調べ理解する。
3. 中間発表	既存の説をわかりやすくまとめて発表することができ、また討議を通してお互いの理解を深め価値を認める。
4. 学説の検討	学説が科学的かどうかを判断する。
5. まとめ	自分の考えをわかりやすくレポートとしてまとめ、口頭発表することができ、また討議を通して互いの理解を深め価値を認める。
6. 食の安全と安心	ヒトは口から食物を摂取し、必要な栄養を獲得する。その食物は収穫前の生育時に多くは農薬にさらされ、その後加工時と保存のために添加物が施される。その際の食物に対する安全性の概念を修得する。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ / 国試出題基準
1	9/6	概論	1. 科学的とはどういうものか、説明できる。 2. 疑似科学として陥りやすいあやまちについて説明できる。	資料を用いて要点を板書きし解説する。	松原郁哉	
2	9/6		1. 疑似科学にはどのようなものがあるか列挙できる。 2. 自分が調べるテーマを決定できる。	資料を用いて要点を板書きし解説する。テーマを選択する。	松原郁哉	
3	9/13	学説の論拠の調査	1. 文献検索に必要な資料を探すことができる。 2. インターネットで資料を検索できる。 3. 資料の出典の書き方を説明できる。	図書館で文献検索する。PCでLANを使用し資料を検索する。資料を用いて解説し、演習を行なう。	松原郁哉	準3-(1)
4	9/13	学説の論拠の調査	1. 収集した資料より、テーマに必要な内容を抽出できる。 2. 抽出内容を発表するためにまとめることができる。 3. プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成できる。	検索した資料から必要な部分を選び提出する。プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成する。	松原郁哉	準3-(1)
5	9/20	中間発表	自分が選んだテーマについて口頭で発表でき、その内容について皆で討議できる。	プレゼンテーションソフトを使って発表する。他人の発表内容について検討する。	松原郁哉	準3-(1)
6	9/20		//		松原郁哉	
7	9/27	学説の検討	1. 資料を基に、自分で考えることができる。 2. 自分の考えを発表するためにまとめることができる。 3. 完成度を高めるため指導教員や学生同士で討議できる。	いくつかのテーマに関する資料を配布し、その資料に基づいて考察を書く。自分で収集した資料を基に、プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成する。	松原郁哉	準3-(1)
8	9/27		//		松原郁哉	
9	10/4		//		松原郁哉	
10	10/4		//		松原郁哉	
11	10/11	まとめ	自分が選んだテーマに対する自分の考えを口頭で発表でき、その内容について皆で討議できる。	学習者に発表させ、その内容について学生同士で討議する。必要であれば修正し、再度発表する。	松原郁哉	準3-(1)
12	10/11		//		松原郁哉	
13	10/18		//		松原郁哉	
14	10/18		自分が選んだテーマの解説とそれに対する自分の考えをレポートにまとめることができる。	ワープロソフトでレポートを書き、提出する。	松原郁哉	準3-(1)
15	10/25	食の安全と安心	1. 食物に使われる農薬を列記できる。 2. 農薬の除去法を説明できる。	PCと資料を用いて講義する。	川瀬俊夫、 斉藤 勲 (招聘講師)	総(II)-6-B-3-c,d

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ / 国試出題基準
16	10/25	安心 食の安全と	1. 食物に使われる農薬を列記できる。 2. 農薬の除去法を説明できる。	PC と資料を用いて講義する。	川瀬俊夫、 斉藤 勲 (招聘講師)	
17	11/1	概論	1. 科学的とはどういうものか、説明できる。 2. 疑似科学として陥りやすいあやまちについて説明できる。	資料を用いて要点を板書きし解説する。	松原郁哉	
18	11/1		1. 疑似科学にはどのようなものがあるか列挙できる。 2. 自分が調べるテーマを決定できる。	資料を用いて要点を板書きし解説する。テーマを選択する。	松原郁哉	
19	11/8	学説の論拠の調査	1. 文献検索で必要な資料を探すことができる。 2. インターネットで資料を検索できる。 3. 資料の出典の書き方を説明できる。	図書館で文献検索する。PC で LAN を使用し資料を検索する。資料を用いて解説し、演習を行なう。	松原郁哉	準3-(1)
20	11/8		1. 収集した資料より、テーマに必要な内容を抽出できる。 2. 抽出内容を発表するためにまとめることができる。 3. プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成できる。	検索した資料から必要な部分を選び提出する。プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成する。	松原郁哉	準3-(1)
21	11/15	中間発表	自分が選んだテーマについて口頭で発表でき、その内容について皆で討議できる。	プレゼンテーションソフトを使って発表する。他人の発表内容について検討する。	松原郁哉	準3-(1)
22	11/15		//		松原郁哉	
23	11/22	学説の検討	1. 資料を基に、自分で考えることができる。 2. 自分の考えを発表するためにまとめることができる。 3. 完成度を高めるため指導教員や学生同士で討議できる。	いくつかのテーマに関する資料を配布し、その資料に基づいて考察を書く。自分で収集した資料を基に、プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成する。	松原郁哉	準3-(1)
24	11/22		//		松原郁哉	
25	11/29		//		松原郁哉	
26	11/29		//		松原郁哉	
27	12/6	まとめ	自分が選んだテーマに対する自分の考えを口頭で発表でき、その内容について皆で討議できる。	学習者に発表させ、その内容について学生同士で討議する。必要であれば修正し、再度発表する。	松原郁哉	準3-(1)
28	12/6		//		松原郁哉	
29	12/13		//		松原郁哉	
30	12/13		自分が選んだテーマの解説とそれに対する自分の考えをレポートにまとめることができる。	ワープロソフトでレポートを書き、提出する。	松原郁哉	準3-(1)